

予算特別委員会資料

平成 2 7 年 度

一般会計当初予算（案）施策の概要

【環境市民部】

2 款 総務費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
1 項 総務管理費		
2 目 文書広報費	○広聴経費 (市民課) 2,238千円 【財源内訳】 ・一般財源 2,238千円	(説明書P53) 複雑・多様化する市民の相談に対応するため、特設相談として弁護士による法律相談を週1回、行政相談委員による行政相談を毎月1回開設する。 また、市民の身近な相談窓口として常設相談を設け、市民サービスの向上を図る。 〈主な経費〉 ・法律相談弁護士会委託経費 2,101千円
3 項 戸籍住民基本台帳費		
1 目 戸籍住民基本台帳費	○戸籍住民基本台帳経費 (市民課) 76,877千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 6,791千円 ・国庫支出金 31,841千円 ・府支出金 14千円 ・諸収入 1,198千円 ・一般財源 37,033千円	(説明書P67) 戸籍法、住民基本台帳法等に基づく異動処理及び各種証明書の発行を行う。 〈主な経費〉 ・戸籍電子情報処理システム機器保守等委託経費 4,260千円 ・戸籍電子情報処理システム機器借上経費 4,961千円 ・住民票・印鑑証明書自動交付機借上経費 8,734千円 ・個人番号カード関連事務委任交付金 31,786千円 (国10/10) ・戸籍保管用耐火金庫購入設置経費 15,000千円
7 項 環境交通対策費		
1 目 環境交通対策総務費	○環境対策事務経費 (環境政策課) 1,257千円 【財源内訳】 ・一般財源 1,257千円	(説明書P77) 火葬場に隣接する憩いの場である、下矢田みどりの郷広場の維持管理等を行う経費及び環境市民部の事務経費 〈主な経費〉 ・浄化システムポンプ等維持管理経費 945千円

2 款 総務費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○環境保全対策経費 (環境政策課) 11,591千円 【財源内訳】 ・諸収入 1,696千円 ・府支出金 1,888千円 ・一般財源 8,007千円	(説明書P77) 環境保全・保護に関する啓蒙啓発、公害防止、不法行為等の監視パトロール、水質検査(市内19河川、35定点で年2回、うち9河川9定点で年6回)、自動車騒音常時監視、市街地における空地の雑草パトロールを行う。 ＜主な経費＞ ・嘱託職員報酬 2,505千円 ・不法投棄撲滅パトロール等業務委託料 5,469千円(府概ね1/2) ・水質検査委託料 948千円 ・自動車騒音常時監視業務委託料 1,520千円
	○環境にやさしいまちづくり推進経費 (環境政策課) 4,244千円 【財源内訳】 ・財産収入 14千円 ・一般財源 4,230千円	(説明書P77) 電気自動車等普及促進補助や住宅用太陽光発電システム設置補助、環境マネジメントシステムの運用等により、地球温暖化対策を推進する。 また、環境フェスタ、みどりのカーテン事業を通じて、環境意識の啓発を行う。 ＜主な経費＞ ・住宅用太陽光発電システム設置事業補助金 2,140千円 ・電気自動車等普及促進事業補助金 1,000千円 ・環境フェスタ関連経費 538千円 ・みどりのカーテン事業経費 118千円
	○アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費 (環境政策課) 62,234千円 【財源内訳】 ・国庫支出金 6,102千円 ・府支出金 23,500千円 ・繰入金 110千円 ・一般財源 32,522千円	(説明書P79) 本市の環境のシンボルであるアユモドキの保護増殖を図るため、亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会を中心に保護活動を行うとともに、文部科学省(文化庁)所管の天然記念物緊急調査事業を活用し、亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会に意見を聞きつつアユモドキの分布、生態、生息環境調査、外来魚調査(影響調査)を行う。 また、「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)に係る環境保全専門家会議」から意見を聴取し、京都スタジアム(仮称)の建設及び共生ゾーンの整備に向け、生息環境再生整備実験やモニタリング調査等を行う。 ＜主な経費＞ ・アユモドキ保全協議会補助金 500千円(府概ね1/2) ・減少原因調査(外来魚調査)業務委託料 3,150千円(国1/2) ・アユモドキ生態・分布・生息環境調査業務委託料 8,039千円(国1/2) ・生息環境再生整備実験及び環境調査業務委託料 46,500千円(府概ね1/2)

2 款 総務費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○漂着ごみ対策事業経費 (環境政策課) 3,000千円 【財源内訳】 ・府支出金 1,500千円 ・一般財源 1,500千円	(説明書P79) 平成24年度に開催した海ごみサミットの開催成果を踏まえ、住民・企業・NPO法人、行政等が連携を図り、内陸域での環境教育や啓発等による漂着ごみ発生抑制対策を行い、環境美化による市のイメージアップを進める。 <主な経費> ・漂着ごみ発生抑制対策業務委託料 2,710千円(府概ね1/2) ・漂着ごみ対策事業費補助金 290千円(府概ね1/2)

3 款 民生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
1 項 社会福祉費		
1 目 社会福祉 総務費	○国民健康保険事業特別会計繰出金 (保険医療課) 838,411千円 【財源内訳】 ・国庫支出金 90,982千円 ・府支出金 302,325千円 ・一般財源 445,104千円	(説明書P85) 国民健康保険事業特別会計の健全で円滑な財政運営を行うため、国保事務費、出産育児一時金等を特別会計へ繰り出す。 ＜主な経費＞ ・国民健康保険事業特別会計繰出金 313,998千円 ・(事務費・出産育児一時金等 263,998千円) ・(その他特別繰出金 50,000千円) ・保険基盤安定繰出金 524,413千円 ・(保険料軽減分 342,449千円) ・(保険者支援分 181,964千円)
	○日雇健康保険事務経費 (保険医療課) 10千円 【財源内訳】 ・国庫支出金 2千円 ・諸収入 8千円	(説明書P85) 日雇特例被保険者にかかる保険者の事務の一部を行う。 ＜主な経費＞ ・日雇健康保険にかかる事務費 10千円
5 目 老人福祉費	○重度心身障害老人健康管理経費 (保険医療課) 79,705千円 【財源内訳】 ・府支出金 39,830千円 ・一般財源 39,875千円	(説明書P91) 後期高齢者医療の被保険者で身体障害者1・2級またはIQ35以下及び身体障害者3級でIQ50以下で、かつ所得が特別障害者手当受給限度額以下の人に対して、高齢者の医療の確保に関する法律第67条に規定する一部負担金相当額を給付する。 ＜主な経費＞ ・審査支払手数料 660千円(府1/2) ・給付金 79,000千円(府1/2)
	○老人医療助成経費 (保険医療課) 94,343千円 【財源内訳】 ・府支出金 62,017千円 ・一般財源 32,326千円	(説明書P91) ひとり暮らしの老人または老人世帯で一定の所得範囲内に属する人、もしくは所得税非課税世帯に属する人で65歳以上70歳未満の人に対し、医療費を助成する。 ＜主な経費＞ ・審査支払手数料 3,800千円(府1/2) ・老人医療助成費 90,000千円(府2/3)

3款 民生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○後期高齢者医療負担金 (保険医療課) 774,401千円 【財源内訳】 ・一般財源 774,401千円	(説明書P91) 後期高齢者医療に係る療養給付費負担金(市町村定率負担金)及び京都府後期高齢者医療広域連合に負担する分賦金 ＜主な経費＞ ・療養給付費負担金 752,312千円 ・広域連合分賦金 22,089千円
	○後期高齢者医療事業特別会計繰出金 (保険医療課) 204,331千円 【財源内訳】 ・府支出金 142,260千円 ・一般財源 62,071千円	(説明書P91) 後期高齢者医療制度の適正で円滑な運営を行うため、事務費及び保険基盤安定負担金を特別会計へ繰り出す。 ＜主な経費＞ ・事務費繰出金 14,651千円 ・保険基盤安定負担金 189,680千円
	○老人保健事業経費 (保険医療課) 313千円 【財源内訳】 ・国庫支出金 97千円 ・府支出金 24千円 ・諸収入 164千円 ・一般財源 28千円	(説明書P91) 平成20年4月1日から後期高齢者医療制度が実施されたことに伴い、老人保健事業の対象は、平成19年度までの精算分のみとなる。老人保健法により設置していた老人保健事業特別会計は平成23年3月31日をもって廃止し、平成23年度からは一般会計で措置している。 ＜主な経費＞ ・老人保健医療費 310千円
7目 国民年金事務費	○国民年金事務経費 (保険医療課) 8,286千円 【財源内訳】 ・国庫委託金 3,953千円 ・一般財源 4,333千円	(説明書P93) 市民の年金受給権の確保のため、国民年金制度の周知、各種届の受付、保険料納付相談等、年金相談を行う。 ＜主な経費＞ ・国民年金相談員報酬 3,876千円 (国10/10)

3 款 民生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○在日外国人 無年金者対 策経費 (保険医療課) 672千円 【財源内訳】 ・一般財源 672千円	(説明書P93) 在日外国人の人で、国民年金法改正前の国籍要件などの理由により国民年金に加入できず、年金給付を受けることができない人に対し、その福祉の向上を図るために特別給付金を支給する。 ＜主な経費＞ ・障害者特別給付金 432千円 ・高齢者特別給付金 240千円

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
1 項 保健衛生費		
2 目 予防費	○感染症予防 経費 (環境政策課) 23千円 【財源内訳】 ・一般財源 23千円	(説明書P115) 災害時(主に水害)の感染症発生を予防する。
3 目 老人保健 費	○後期高齢者 健診事業経 費 (保険医療課) 26,782千円 【財源内訳】 ・諸収入 13,908千円 ・一般財源 12,874千円	(説明書P115) 後期高齢者医療の被保険者を対象とした人間ドック並びに健 康診査費用助成を実施する。 <主な経費> ・人間ドック健康診断委託料 3,045千円 ・健診事業委託料 22,963千円
4 目 環境衛生 費	○動物管理指 導経費 (環境政策課) 1,966千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 584千円 ・府支出金 185千円 ・一般財源 1,197千円 ○環境衛生事 務経費 (環境政策課) 157千円 【財源内訳】 ・一般財源 157千円	(説明書P115) 狂犬病予防法に基づき、飼犬の登録と狂犬病予防注射の実施及 び、動物の適正飼養の啓発を行う。 <主な経費> ・狂犬病予防注射票引渡し事務委託料 774千円 (説明書P117) 蜂の巣駆除のための防護服の貸し出しを行い、蜂による被害を 防ぐ。 <主な経費> ・蜂用防護服 107千円

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
2 項 清掃費 1 目 清掃総務費	○火葬場等経費 (環境政策課) 40,875千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料他 15,256千円 ・一般財源 25,619千円	(説明書P117) 火葬場の適正管理及び利用者へのきめ細かい行政サービスの提供を行う。また、新火葬場の整備構想を策定する。 <主な経費> ・嘱託職員報酬 14,468千円 ・火葬用燃料費 5,032千円 ・火葬炉等修繕料 8,555千円 ・新火葬場整備構想調査業務委託料 7,879千円
	○清掃事務経費 (環境政策課) 443千円 【財源内訳】 ・財産収入 10千円 ・一般財源 433千円	(説明書P117) 清掃用具やごみ袋の貸与等を行うことにより、市民の自主的な美化活動を支援し、地域の環境美化を推進する。
	○浄化槽設置整備事業経費 (環境政策課) 7,180千円 【財源内訳】 ・国庫支出金 2,295千円 ・府支出金 2,471千円 ・一般財源 2,414千円	(説明書P119) 公共用水域の水質保全を図るため、生活排水の処理対策として、集合型処理事業以外の区域において、浄化槽の普及促進を図るため、亀岡市浄化槽設置整備事業費補助金交付要綱に基づき浄化槽設置者に助成を行う。 <主な経費> ・浄化槽設置整備事業費補助金 6,886千円(国1/3、府1/3)

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
2 目 塵芥処理費	○塵芥処理事務経費 (環境クリーン推進課) 53,002千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料他 46,640千円 ・一般財源 6,362千円 ○桜塚工場運転管理経費 (環境クリーン推進課) 1,428,787千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 129,899千円 ・国庫支出金 336,765千円 ・市債 704,500千円 ・一般財源 257,623千円 ○医王谷埋立処分場維持管理経費 (環境クリーン推進課) 10,991千円 【財源内訳】 ・一般財源 10,991千円	(説明書P119) 清掃事業を適正かつ円滑に実施するため、一般廃棄物処理実施計画に基づき効率的な事務執行を図る。ごみ減量リサイクルの推進や受益者負担の公平性を図るために導入した指定ごみ袋制度を運用する。 〈主な経費〉 ・指定ごみ袋作成、運搬経費等 43,772千円 (説明書P119) 収集された燃やすごみを桜塚クリーンセンターで焼却処理するとともに、公害防止対策に万全を期すなど施設の維持管理を適正に行う。 また、循環型社会形成推進交付金制度を活用した主要設備の改修等を実施し、安定したごみ処理能力を確保する。 〈主な経費〉 ・工場用薬品 18,984千円 ・施設修繕料 70,000千円 ・桜塚工場運転管理委託料 123,120千円 ・基幹的設備改良工事経費 1,141,500千円(国1/3) (平成24年度～27年度継続事業) (説明書P119) 埋立を完了した医王谷エコトピアからの環境影響を抑止するため、引き続いて浸出水処理施設の適正な維持管理を実施する。 〈主な経費〉 ・浸出水処理施設整備補修 500千円 ・浸出水処理施設運転管理委託料等 7,306千円

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○塵芥収集運搬経費 (環境クリーン推進課) 432,547千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 8,664千円 ・市債 15,600千円 ・一般財源 408,283千円	(説明書P119) 一般家庭から排出されたごみを、適正かつ効率的に収集し、公衆衛生の維持、向上を図る。ごみ収集を(公財)亀岡市環境事業公社に委託し、適正排出の推進と市民サービスの向上を図る。 〈主な経費〉 ・ごみ収集運搬業務委託料 60,633千円 ・公社貸与車両購入 20,918千円 ・環境事業公社運営補助金 350,799千円
	○ごみ減量・資源化等推進事業経費 (環境クリーン推進課) 63,940千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 18,454千円 ・財産収入 13,688千円 ・一般財源 31,798千円	(説明書P119) 循環型のまちづくりを目指し、ごみの発生抑制に努めるため、生ごみ処理機の購入や集じん箱設置に対する補助金、資源ごみの集団回収に対する報奨金を交付する。缶、ビン、プラスチック製容器包装、ペットボトルや廃乾電池、廃蛍光管のリサイクルを図る。 また、国の「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」を活用し、使用済小型家電を拠点にて分別収集を開始するために必要な収集運搬経費を計上する。 〈主な経費〉 ・資源化業務委託料等 31,680千円 ・クリーンかめおか推進会議補助金 1,300千円 ・集団回収報奨金 17,250千円
	○大阪湾広域廃棄物埋立処理事業経費 (環境クリーン推進課) 42,506千円 【財源内訳】 ・一般財源 42,506千円	(説明書P121) 桜塚クリーンセンターから発生する焼却灰を大阪湾圏域の関係市町村等が共同で利用できる最終処分場で、適正かつ効率的に処分を行う。 〈主な経費〉 ・灰運搬処分委託料 41,667千円

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
3 目 し尿処理 費	○粗大ごみ処理経費 (環境クリーン推進課) 5,394千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 2,166千円 ・一般財源 3,228千円	(説明書P121) ごみの減量・資源化を図るため、各家庭から排出される粗大ごみの戸別回収を行い、可燃性粗大ごみ(大型家具・建具・寝具等)は破碎して桜塚クリーンセンターで適正に焼却処分をする。不燃性粗大ごみは民間の処理施設で適正に資源化処理する。 〈主な経費〉 ・粗大ごみ運搬処理委託 3,492千円
	○最終処分場維持管理経費 (環境クリーン推進課) 50,130千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 13,849千円 ・一般財源 36,281千円	(説明書P121) 埋立ごみをエコトピア亀岡で、減容化・安定化して適正に埋立処分をするとともに、浸出水処理施設等を適正に維持管理して環境影響の抑止を図る。 〈主な経費〉 ・浸出水処理施設整備補修等 12,405千円 ・浸出水処理施設運転管理委託料等 22,568千円
	○し尿収集経費 (環境クリーン推進課) 106,892千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料 88,342千円 ・一般財源 18,550千円	(説明書P121) し尿のくみとりを(公財)亀岡市環境事業公社及び南丹清掃(株)に委託し、業務の効率化と市民サービスの向上を推進し、公衆衛生の維持、向上を図る。 〈主な経費〉 ・し尿くみとり委託料等 50,238千円 ・環境事業公社運営補助金 50,459千円

4 款 衛生費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
	○し尿処理経費 (環境政策課・環境クリーン推進課) 179,819千円 【財源内訳】 ・諸収入 4千円 ・一般財源 179,815千円	(説明書P121). 若宮工場を適正に維持管理して、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、公衆衛生の維持・向上を図る。施設の運転管理業務を(公財)亀岡市環境事業公社に委託し、業務の効率化と安定化に努める。 し尿及び浄化槽汚泥を公共下水道と共同で処理することにより、市域全体の生活排水処理の効率化を図る。 ＜主な経費＞ ・若宮工場運転管理委託料等 106,160千円 ・し尿共同処理前処理施設調査等業務委託料 15,120千円 ・環境事業公社運営補助金 58,427千円

7 款 商工費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
1 項 商工費		
1 目 商工総務費	○消費生活対策経費 (市民課) 3,894千円 【財源内訳】 ・府支出金 3,044千円 ・一般財源 850千円	(説明書P141) 消費生活についての情報提供や啓発活動により市民生活の安全・安心の向上を図るとともに、亀岡市消費生活センターの運営及び専門相談員による消費生活相談を充実し、消費者被害の未然防止や被害の早期解決を図る。 ＜主な経費＞ ・消費生活専門相談員報酬 1,930千円(府10/10) ・消費生活専門相談員レベルアップ研修支援 172千円(府10/10) ・消費生活啓発学習講座 74千円(府1/2) ・消費生活啓発資料 972千円(府1/2)